

令和2年度 (一社)北九州市PTA協議会

第10回役員会議 報告

- 令和3年2月12日(金) 会長・副会長会議 18:00～ 役員会議 19:00～
- 北九州市立生涯学習総合センター3階 大ホール
- 出席者(敬称略) 小森・吉井・加藤(大)・密井・有江・大庭・日野・田中・三浦・森谷・田頭・井上・相良・坂本(雅)・上田・奥村・李・今林・梅原・船越・西田・藤井・野田・小川・池田・鬼ヶ原・田場・松岡・原田

※下線太字はリモート参加者

事務局…溝部・今永・村山

- 議 事
議事録署名人と「子どもを育てる10か条」の唱和者の指名
 - ☆ 議事録署名人 松岡 原田
 - ☆ 「子どもを育てる10か条」の唱和 吉井

≪役員会来訪者説明≫

1. 会長あいさつ

久しぶりに子どもを育てる10か条の唱和を聞きました。コロナ禍の中、本日も会議にご参加いただき感謝申し上げます。本日も有意義な会議になります事を祈念いたします

2. 審議事項

- ① 日本PTA全国研究大会シンボルマークの審査
 - ・現地参加の役員は会議終了後、別室にて投票。
 - ・現地参加以外の役員は2月16日(火)までにオンライン投票。
 - ・第2、第3次審査を後日実施予定。

3. 協議事項

- ① 令和3年度 会長・副会長等会及び役員会、その他研修会等の日程確認 ※前回送付済み<森谷>
コロナ禍を鑑み、会長・副会長等会議と役員会議を大ホールで行うこととした。

4 連絡・報告事項

- ① 役員より
 - 日本PTA全国大会の進捗状況について<三浦>
日P大会実行委員会を週2回ペースで実施している。次回実行委員会ではテーマ会の内容を検討する予定である。開催日数を1日とすることを日本PTA全国協議会(以下日P)から承認いただいている。2月16日(火)開催予定の日P理事会にて第一次募集チラシの審議を行う。2月の下旬に印刷し、3月の中旬に配布できるようにしたい。

- 令和3年度の役員候補の推薦について
 - ・各連合会からの推薦とお願いと推薦者の人数について<三浦>
各区からの推薦は2名ではいけないのでしょうか、という質問を受け、1名と回答した。

母親代表候補者の方も各区1名推薦してもらいたい。

○ 専門家による新型コロナウイルス感染症対策に関する教職員向け研修会の動画配信のお知らせ確認（参考資料として活用してください）※前回送付済み

○ 三P協主催「学ビバ FUKUOKA」のシンボルマーク作成について

・「ストップ・ザ・非行ふくおか」を「学ビバ！ FUKUOKA」の名称に変更するにあたり、シンボルマーク(キャラクターデザイン)を作成予定。それに伴う費用の負担について確認。

<森谷>

シンボルマーク作成費用は15万円(各P協で5万ずつ負担)。前回の審議にて承認済み。

○ 日本PTA国内研修事業中止確認 ※前回連絡済み

○ PTA協議会Wi-Fi環境整備について、ポケットWi-Fiを購入予定

<三浦>

PTA協議会の事務局・生涯学習総合センターにWi-fi環境がなく、オンライン会議環境整備に個人の私物をやむなく使用していた。その状況を早急に改善するため、1月8日(金)付でwi-fi導入に係るご意見を募集し、反対意見がないことを確認して導入を決めた。リモート研修会・会議に対応できるように活用する。

② 連合会より なし

③ 校長会より

<小学校校長会>

コロナ対策をやりながら学年末に向けて動き始めている。卒業式は状況、規模に応じて工夫しながら実施するよう教育委員会から通知が来ている。入学式の実施方法、行事予定についてはまだ検討段階である。決定次第連絡があるので、PTA総会等の実施も含めこれから保護者の皆様と打ち合わせしていきたい。

④ 常置委員会の活動報告

<教育環境委員会>

教育環境をより良いものにすることを目的として北九州City会議を行う。コロナ禍を主題とした子どもたち主体の会議を行う。委員会

- ・会議終了後に保護者向けのWebアンケートを実施し、最重要課題の洗い出しを行う。
- ・事前アンケートを実施する。

(小学校6年生、中学校2年生対象。内容はコロナ禍で困ったこと)

- ・会議結果をとりまとめ、北九州City宣言を作成する
- ・本会については教育委員会、校長会に協力を仰いでいる。

<研修委員会>

1月12日(火)に第5回委員会をリモートで開催した。現地開催は実施できなかったが、中止したわけではない。2月6日(土)に講演会の撮影を行った。撮影したデータを編集して配信する。配信時期は用意ができ次第、別途案内する。

⑤ 事務局より

- ・2月、3月行事予定表
- ・次回 役員会議 3月5日(金) 19:00～ 3階大ホール

⑥ 質疑応答

<門司区小P連>

前々回の会議で質問させていただいた連合会活動補助金の件はどうなったのか。

<三浦>

今年度は日P大会準備費用に充てさせていただいた。来年度についても活動補助金を還付

することは難しく、できれば今年度も引き続き準備費用とさせてもらいたい。コロナ禍によって、企業の協賛も得られにくくなってしまった。また、この連合会活動補助金の在り方についても今後、総務委員会で検討したいと考えている。各区連合会によって用途・分配の仕方も異なるようなので検証も行いたい。コロナ禍等の非常事態に支出できる準備金として今後使用する等、総務委員会で検討したい。

<門司区小P連>

大会資金が足りないのであれば、繰越金を活用できないのか。

<三浦>

繰越金は教育財団が管理している積立金 6000 万のことである。

<門司区小P連>

予算が足りないのであれば、大会規模の縮小を行えばよいのではないかという意見が連合会内で挙がっているのだが、答えてもらえないだろうか。

<三浦>

開催日数を 2 日から 1 日に縮小し、予算の削減に向けコンパクトな大会を予定している。

<門司区小P連>

削減しても予算不足、ということなのか？

<三浦>

コロナ禍によって協賛金などが見込めなくなってしまったからである。